“ど真ん中に食と農”
次代につなぐ
地域づくり

2022
事業案内

JAふくしま未来

経営理念

未来への 心をつなぐ パートナー

“農をはぐくみ 地域をつなぐ”

私たちは「農業王国ふくしま」の新たな創造に挑戦します。
くらしの豊かさと安心を追求し、笑顔あふれる地域を未来へつなぎます。
私たちは、みなさま一人ひとりの心をつなぐパートナーの役割を、
誠実・確実に果たしてまいります。

一. ふるさと福島を愛し、豊かな自然、水、光を未来へつなぎます。

主たる項目 15 陸の豊かさも守ろう

関連項目 6 安全な水とトイレを世界中に / 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに / 12 つくる責任 つかう責任 / 13 気候変動に具体的な対策を / 14 海の豊かさを守ろう

一. 創造と挑戦により、多様な農業・文化を次代につなぎます。

主たる項目 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

関連項目 1 貧困をなくそう / 2 飢餓をゼロに

一. 豊かなくらしを創るため、協同活動の和をつなぎます。

主たる項目 16 平和と公正をすべての人に

関連項目 3 すべての人に健康と福祉を / 10 人や国の不平等をなくそう / 11 住み続けられるまちづくりを

一. 地域の笑顔をいつまでも、人と人、心と心をつなぎます。

主たる項目 17 パートナーシップで目標を達成しよう

関連項目 4 質の高い教育をみんなに / 5 ジェンダー平等を実現しよう / 8 働きがいも経済成長も

JAふくしま未来の概要 （令和4年2月末現在）

■ 名　　称 ■ ふくしま未来農業協同組合
■ 所 在 地 ■ 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
■ 設　　立 ■ 平成28年3月1日
■ 管 轄 地 ■ 福島市、伊達市、二本松市、本宮市、相馬市、南相馬市、
伊達郡川俣町、伊達郡桑折町、伊達郡国見町、
相馬郡新地町、安達郡大玉村、相馬郡飯舘村 の12市町村
■ 出 資 金 ■ 160億6,111万円
■ 組 合 員 ■ 93,789人（92,961人、828団体）
うち正組合員　44,774人、218団体
准組合員　48,187人、610団体
■ 職 員 数 ■ 1,612人
■ 事業所数 ■ 支店 62　出張所 3　営農センター 27　農産物直売所 10

ホームページ

沿革・あゆみ

■平成25年3月 福島県北地区JA合併推進協議会設立

■平成27年9月 合併予備調印式
10月 合併総代会

■平成28年3月 ふくしま未来農業協同組合発足
4月 JAふくしま未来女性部本部設立総代会
5月 第1回通常総代会
6月 「あんぽ工房みらい」完成
7月 小川集集荷所完成
9月 「JA歯科医院もとみや」開院

■平成29年2月 JA秋田おばことの友好JA協定締結
3月 イメージキャラクター「みらい4兄弟」誕生
こらんしょ市二本松店リニューアルオープン
4月 山木屋支店営業再開
5月 第2回通常総代会
7月 生協コープおおいた、エフコープ生協友好協力協定締結
11月 管内12市町村「地域見守り活動」協定締結

■平成30年3月 「みらいろポイントカード」サービス開始
4月 大枝支店、白沢支店完成
5月 第3回通常総代会
7月 東京農業大学との包括連携協定締結
12月 第10回JAみらいサミット開催

■平成31年・令和元年
3月 JA地域くらし活動支援事業開始
5月 准組合員向け広報誌「みらいろエール」発行開始
第4回通常総代会
6月 福島大学食農学類との包括連携協定締結

10月 原町テント倉庫完成
11月 東京農業大学の農業実習生受け入れ

■令和２年 4月 梁川総合支店移転オープン
5月 第5回通常総代会
6月 「産地情報ライブカメラ配信システム」導入
10月 「みらいホールやながわ」完成
12月 農産物PRチーム「J-FAP」結成
ふくしま未来農業協同組合合併5周年記念式典
第4回 ジャパンSDGsアワード受賞

■令和３年 1月 RPAシステム導入
5月 安達地区広域共選場きゅうり選果施設稼働
第6回通常総代会
6月 花卉共選施設稼働
9月 福島・伊達地区の金融店舗で隔日営業開始

■令和４年 2月 JA広報大賞「総合の部」準大賞受賞
JA全中「農業協同組合表彰規程」に基づく「特別優良表彰」受賞

主な事業の内容と活動報告

自己改革実施中!!
不断の自己改革へ
さらなる挑戦

「創造的自己改革」
組合員の願いを実現するため、JAが多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく積極的かつ多彩な事業と組織活動を展開し、地域の農業とくらしになくてはならない組織となることを目指す改革です。

営農指導事業

農家を対象に栽培技術や販売に関する指導を行ったり、農家からの営農や経営の相談にのっております。

さらに、農家の担い手や農業法人などを育成することも大切な役割です。

指導事業は、JAが取り組む様々な事業を有機的に結びつけ、事業を利用する方々の満足度を高めるための土台となっています。

◇農業のさらなる発展・成長のために

JA自己改革の「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、「農の達人」による営農指導、担い手渉外・営農指導員による巡回、常勤役員による認定農業者等との意見交換に取り組んでおります。

●農の達人

各地区の中核農家を「農の達人」（8品目・15名）として委嘱。その時期の作業における技術を指導し、生産者の技術向上を目指します。

●JAふくしま未来のれん分け方式の取り組み

各地区に1名ずつ、就農支援担当者を配置し、就農相談から就農定着までの3年間を重点的にサポートしています。

のれん分け方式による研修受入先の紹介及び離農する担い手へ農業経営の第三者継承について支援しています。

●農業支援体制

- 新規就農者支援－担い手育成給付金事業利用者279名
- 農業法人、集落営農組織
- 認定農業者等担い手と常勤役員による意見交換会の実施

●JGAPの取得促進

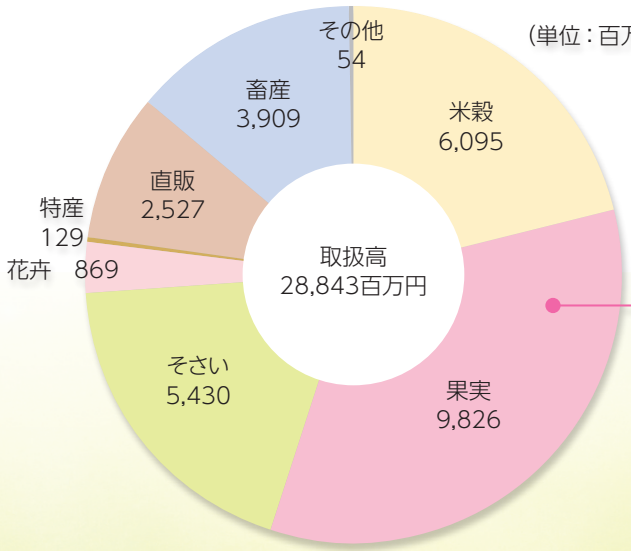
～安全な農作物の提供へ～

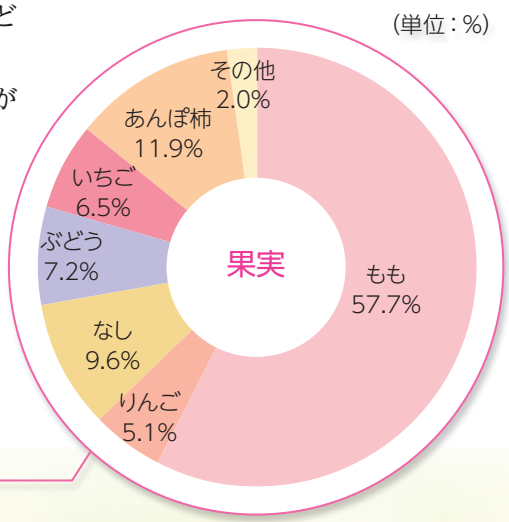
団体認証2部会、199農場で取得（659.6ha）
JGAP指導員190名、内部監査員184名

※JGAPとは
　食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証のこと。農林水産省が導入を推奨する農作業生産工程管理手法の1つです。第三者機関の審査により、認証が与えられます。

販売事業

　農家の皆さまが生産した農畜産物を集めて、卸売市場や量販店などに出荷・販売します。
　いかにして有利販売するか、組合員の所得を高めることにつながる、JAの最も重要な仕事です。





●販売戦略の強化

　主要市場による有利販売、直接販売や買取販売等、新たな販売手法・輸出等の販売拡大により、販売単価をさらにアップ、販売品販売高300億円をめざします。
　海外については、タイ・マレーシア・インドネシア等に、もも、なし、りんご等の輸出にも取り組んでおります（令和３年度輸出実績　合計19.4ｔ）。また、令和４年１月よりUAE（ドバイ）へあんぽ柿の本格輸出を開始しております。

管内10直売所の
販売強化

カタログ販売の充実
「ふるさと小包」、
「旬のお届け」

6次化商品の
取り組み

第17回一村逸品大賞　大賞「セミドライフルーツ」

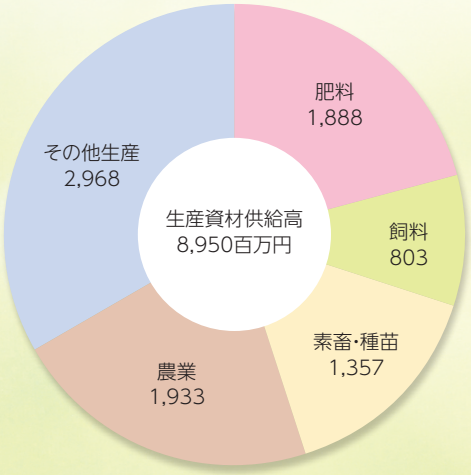
●地産地消を応援！！

「みらいろポイントカード」

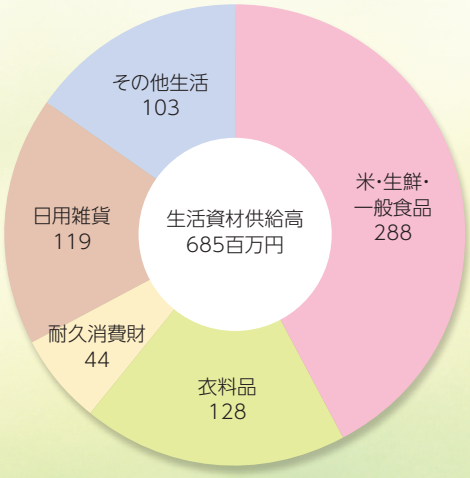
会員数72,186名（令和4年7月末時点）
・お得なポイントサービス：200ポイント貯まるとお買物券発行！
・JA利用による会員ランク制度：JA事業利用に応じて、ポイント獲得率がアップ！
・協力店（地産地消応援サポーター）：会員証提示で特典やサービスが受けられます。
656社（令和4年7月末時点）

購買事業

組合員や地域の皆さまに肥料・飼料等の生産資材や生活資材を
できるだけ安く、良質なものを安定的に供給しています。



（単位：百万円）



●生産コストの引き下げを目指して
～スケールメリットの創出～

生産コスト引き下げのため、オリジナル肥料の普及拡大や予約供給拡大といった取り組みをすすめ、肥料・農薬等重点品目の地域最安値に挑戦します。

ダンボール規格統一
きゅうり、チェリートマトに続き、新たにニラ・春菊・いちごで規格統一

JAふくしま未来オリジナル肥料の開発
『みらいろ物語』シリーズ
果樹7品目、野菜2品目、水稲5品目

最安値への挑戦
肥料・農薬地域最安値を目指し－肥料27品目、農薬23品目で取り組みました。

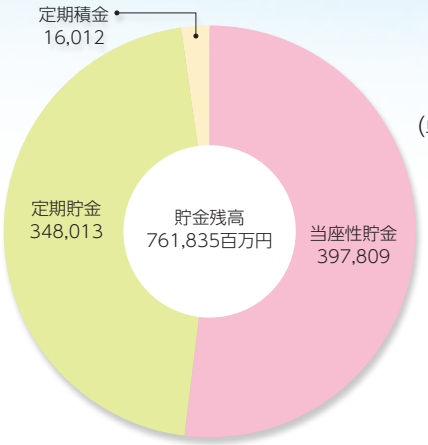
介護福祉事業

組合員・利用者が住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう、ご自宅で提供する訪問介護、ご自宅から通える通所介護、ベッド・車いすを借りられる福祉用具貸与や販売など様々な介護保険サービスのほか、それらを介護利用者様・ご家族様のニーズに合ったサービスの調整をする居宅介護支援なども行っています。

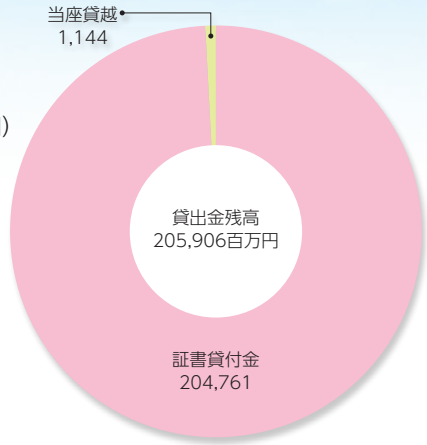
また、口腔機能を維持できるよう歯科医師が、外来以外にもご自宅や施設へ往診を行っているほか、地域の要望に応えて講演や発表なども実施しています。

信用事業

貯金・貸出・為替をはじめとする金融サービスを提供しております。
組合員の皆さまなどからお金を預かり、それを農業振興や生活向上に必要な資金として融資しています。
JAの信用事業は「JAバンク」として全国のJAと手を携えた「JAバンクシステム」により安全に事業を行っています。
皆さまの大切な財産を安心してお預入れいただけます。



(単位：百万円)



地域貢献情報

当組合は、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していく）を共通理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。
JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めております。

農業メインバンク機能の強化
「農業近代化資金」、「アグリマイティー資金」、「担い手応援ローン」、「JA新規就農応援資金」等、農業経営を応援します。

生活メインバンク機能の強化
「住宅ローン」、「教育ローン」、「マイカーローン」をはじめ、夢の実現を応援します。

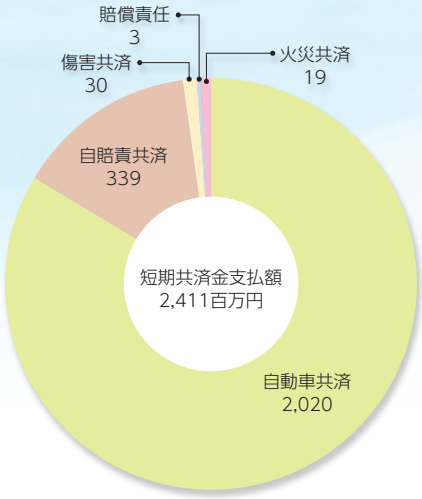
遺言信託事業（相続、事業継承支援）　（令和3年度実績）
世代交代・後継者対策として積極的に展開してまいります。
遺言書作成支援　12件　法務・税務相続　31件

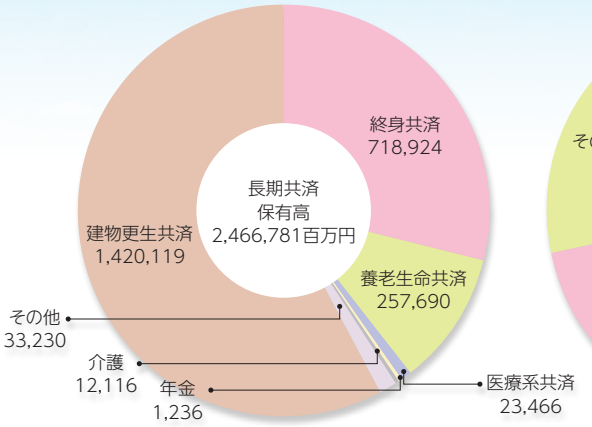
●MA（マネー・アドバイザー）

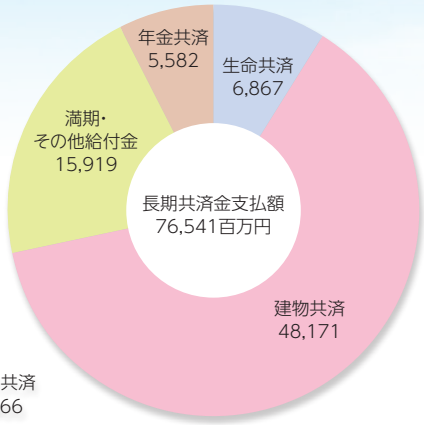
貯金・年金・融資など金融商品に関する専門知識を持ち、地域の方々のお役に立つよう、日々訪問活動を行っています。
金融に関する様々な提案や将来の資産形成のお手伝いをします。

共済事業

JA共済は、相互扶助を事業理念とし、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供し、組合員の生活を守っています。







(単位：百万円)

●スマイルサポーター

窓口におけるJA共済の「顔」として、組合員・地域の皆さまへ総合保障について相談・提案を行っております。

●LA（ライフ・アドバイザー）

JA共済について専門知識を持ち、ライフプランに応じた様々なニーズにお応えします。また、ご契約者さまへのフォロー活動・保障見直し活動も行っております。

子会社

JAふくしま未来には、燃料・LPガス、冠婚葬祭、リフォーム、家電、農機等を取り扱う『（株）JAふくしま未来サービス』。種苗・果実・野菜の生産販売や農作業の請負・受託、農業担い手育成・研修、農業労働者の紹介等を取り扱う農業生産法人の『㈱新ふくしまファーム』『みらいアグリサービス㈱』『㈱アグリサービスそうま』と合わせて4つの子会社があります。

今後もグループ一体となり、さらなる組合員・地域サービスの向上に努めてまいります。

地域貢献について

組合員や地域の皆さまの生活意識・価値観に応え、地域の各組織と連携しながら、多岐にわたり地域社会の活性化に取り組んでおります。

食育教育や高齢者福祉、子育て支援事業などを通じ、「安心して暮らせる住みよい元気な地域づくり」に貢献しております。

食と農業の大切さを学ぶ ～食農教育～

学校教育支援事業

- 花育授業
  - ■小学校　延べ3,435人
- 食育授業
  - ■小学校・幼稚園　延べ52校
- バケツ稲づくり
  - ■種まき、中干、稲刈り　延べ21校
- 野菜苗定植・収穫
  - ■小学校・幼稚園　延べ34校
- 小学校へ食農教育資材の贈呈
  - ■小学校　延べ125校

親子農業体験イベント

- 「みらいろアグリ塾」
  - ■参加者　延べ20人
- 「ちびっこ農業大学」
  - ■田植え、稲刈り体験・収穫祭

心と体の健康づくり

- ウォーキング大会
  - ■3回　延べ254名参加
- ふれ愛グループ
  - ■介護施設訪問慰問、幼稚園児との交流、1人暮らし高齢者訪問等
- 健康増進活動
  - ■農村・地域住民の健康づくりと生活福祉向上
- JA健康寿命100歳弁当コンテスト

文化活動 ～生きがいづくり・伝統継承～

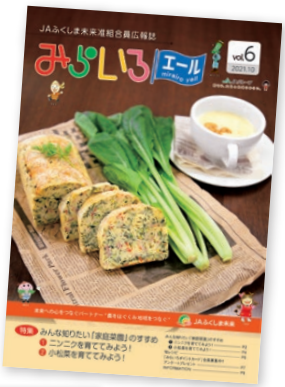
- アグリカレッジ
  - ■4コース　延べ73人
- 女性大学「みらいスクール」
  - ■7回開催　延べ317人
- きらり女性大学
- レディース講座
- 女性部交流大会
- 伝統料理教室、地産地消料理教室、地域の寺子屋

地域くらし活動支援

管内の地域貢献や地域活性化に取り組むグループ団体等の活動（くらしの活動、高齢者支援活動、環境保全活動等）に1団体上限10万円の資金助成を行っております。

情報提供活動

- 広報誌「みらいろ」の発行
  →毎月発行の組合員向け広報誌
  ※ＪＡ広報大賞「総合の部」準大賞受賞
- 准組合員向け「みらいろエール」の発行
  →年2回
- コミュニティー誌「ぐ～がる」の発行
  →年2回発行の地域住民向けコミュニティー誌
- 支店だよりの発行
  →各地区の支店・営農センター単位で毎月発行している手書きによる新聞
- ホームページやLINEによる情報発信
- 「みらいろチャンネル」YouTubeによる動画発信



GOOD!
チャンネル登録

J－FAP（ジェイファップ）

「JAふくしま未来農産物PR」という意味の英語「JA Fukushima Mirai Agricultual Public Relations」の頭文字から命名しました。

J－FAPは、JAふくしま未来の農産物のPR活動を通じて、生産者や消費者との良い関係づくりを目指していきます!!

事業実績

① 主な事業実績の推移

（単位:千円）

項　目	令和２年度	令和３年度
貯　金　等　残　高	734,891,084	761,835,439
貸　出　金　残　高	197,682,388	205,906,017
有　価　証　券　残　高	11,809,842	23,003,142
長　期　共　済　保　有　高	2,468,765,885	2,466,781,685
短　期　共　済　新　契　約　高	5,822,447	5,807,189
購　買　品　供　給　高	9,684,130	9,636,672
販　売　品　販　売　高	28,708,037	28,843,691

販売品販売高について、飼料用米の直接交付金を米穀単価に換算した場合

（単位:千円）

項　目	令和２年度	令和３年度
飼　料　用　米　販　売　高	2,677,220	2,894,000
販　売　高　合　計	31,385,250	31,738,350

貯　金　等…組合員や利用者等から受け入れている貯金や定期積金の額
貸　出　金…組合員・地方公共団体等への融資額
有　価　証　券…所有する債券・株式等の額
長　期　共　済…共済期間が5年以上
短　期　共　済…共済期間が1年以内
購買品供給高…肥料・農薬・生活資材等の供給高
販売品販売高…果実・野菜・お米等の販売高

② 収益の推移

（単位:千円）

項　目	令和2年度	令和３年度
事業収益	28,727,317	29,038,368
信用事業収益	5,516,639	5,708,406
共済事業収益	5,279,279	5,447,221
農業関連事業収益	16,279,992	16,248,460
生活その他事業収益	1,392,806	1,348,708
営農指導事業収益	258,598	285,570
経常利益	1,450,515	1,868,032
当期剰余金	1,096,527	1,580,844

㈱ 1.事業収益は各事業収益の合計額を表しています。
2.当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。

農業関連事業…販売・購買(生産)・保管・加工・利用・農用地利用・全袋事業
生活その他事業…購買(生活)・介護福祉・旅行・その他・指導(生活)事業

③ 貸借対照表

（単位:千円）

科　目	令和2年度	令和３年度	科　目	令和2年度	令和３年度
(資産の部)			(負債の部)		
1.信用事業資産	731,591,271	762,775,200	1.信用事業負債	745,554,285	774,122,161
2.共済事業資産	6,290	10,280	2.共済事業負債	3,067,504	3,133,789
3.経済事業資産	7,118,698	6,393,115	3.経済事業負債	1,943,485	2,101,810
4.雑資産	4,305,819	3,675,289	4.雑負債	2,637,845	2,276,123
5.固定資産	23,037,752	22,449,805	5.諸引当金	3,595,244	3,145,123
6.外部出資	36,703,670	36,703,074	6.再評価に係る繰延税金負債	2,454,174	2,443,238
7.繰延税金資産	1,093,524	1,068,208	負債合計	759,252,539	787,222,246
			(純資産の部)		
			1.組合員資本	38,380,494	39,737,739
			2.評価・換算差額金	6,223,992	6,114,988
			純資産合計	44,604,486	45,852,728
資産合計	803,857,026	833,074,974	負債及び純資産合計	803,857,026	833,074,974

④ 損益計算書

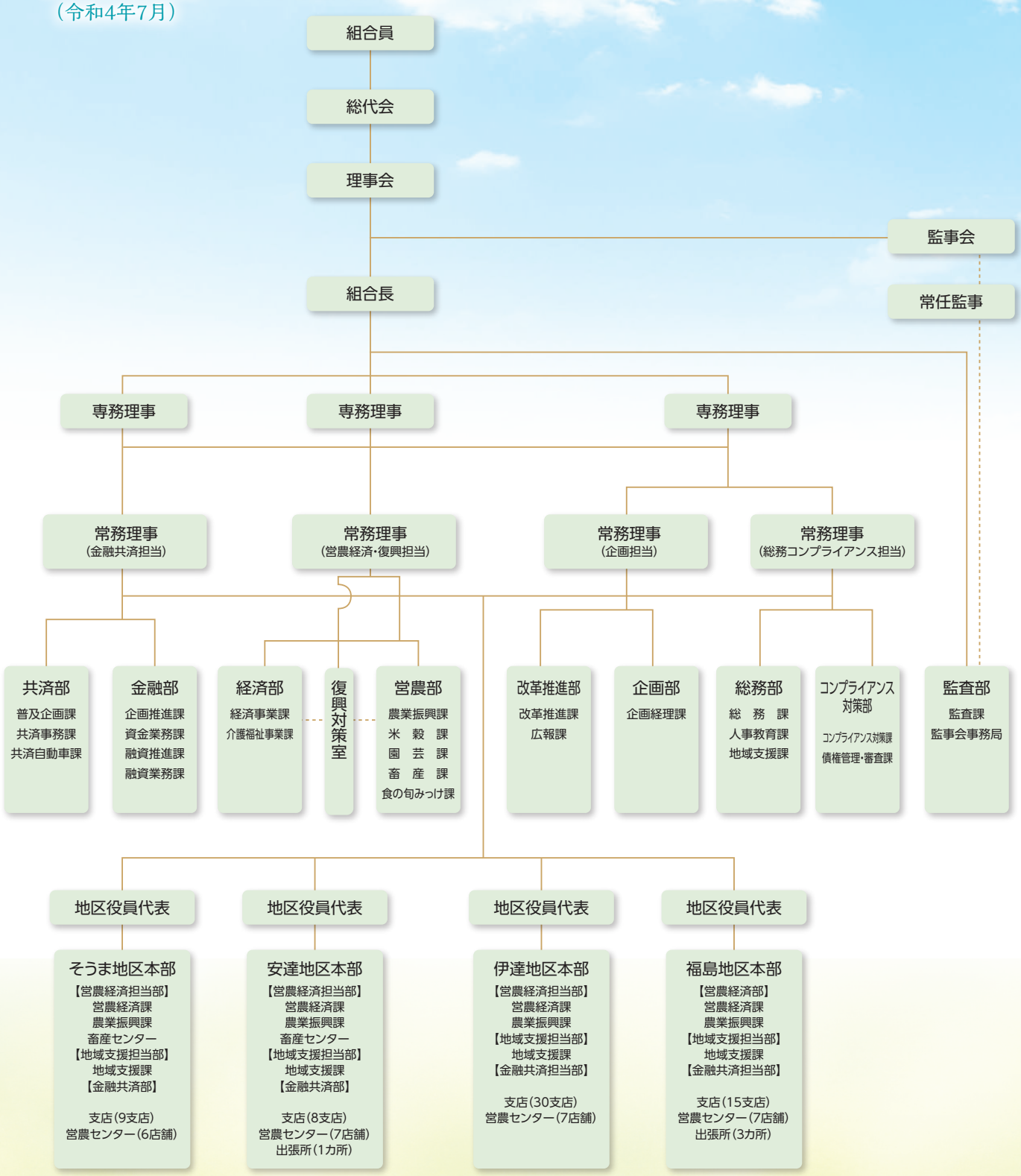
（単位:千円）

科　目	令和2年度	令和３年度
信用事業総利益	4,950,920	4,864,840
共済事業総利益	4,860,694	5,011,912
購買事業総利益	1,411,123	1,349,658
販売事業総利益	1,888,165	2,260,732
保管事業総利益	63,743	62,023
加工事業総利益	718	609
利用事業総利益	263,834	284,160
指導事業総利益	△ 251,251	△ 395,890
その他事業総利益	473,749	414,429
事業総利益	13,697,699	13,852,476
事業管理費	12,701,731	12,721,985
事業利益	995,967	1,130,491
事業外収益	983,210	929,031
事業外費用	528,662	191,489
経常利益	1,450,515	1,868,032
特別利益	872,745	835,545
特別損失	875,569	552,805
税引前当期利益	1,447,692	2,150,773
当期剰余金	1,096,527	1,580,844
当期未処分剰余金	1,630,533	2,267,990

⑤ 自己資本の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和4年2月末における自己資本比率は、11.84%となりました。

組織機構図
（令和4年7月）



農産物直売所　●ここら矢野目店　●ここら吾妻店　●Yショップここら西店　●ここら黒岩店　●ここら清水店
●ここら川俣店　●みらい百彩館んめ～べ　●こらんしょ市二本松店
●旬のひろば（原町）　●ふれあい旬のひろば（相馬）

子会社　●㈱JAふくしま未来サービス　●㈱新ふくしまファーム　●みらいアグリサービス㈱
●㈱アグリサービスそうま

第4回 ジャパンSDGsアワード受賞

当JAは、第4回ジャパンSDGsアワードで特筆すべき功績があった企業・団体に贈られる特別賞（SDGsパートナーシップ賞）を全国のJAグループでは初めて受賞いたしました。

JAの経営理念や第2期中期経営計画「みらいろプラン」とSDGsをリンクさせ、2019年より全役職員参加のもと、「SDGsと協同組合」をテーマに研修会の開催や、組合員向け広報誌「みらいろ」に組合員学習としてSDGsについて連載しました。

東日本大震災や台風被害からの生産回復への取り組み、日本一の夏秋キュウリ産地となるなど農業復興に努めました。また、買い支え運動「ふくしま応援隊」を通じ、風評被害の払拭、地域企業と農産物の加工や観光等との連携を図ってまいりました。

女性部のエコバック作成やウオーキング大会などの健康や環境に関する活動、包括連携協定を結ぶ団体組織へ災害発生時に土嚢やスコップ等の提供など、相互支援を実施しました。

包括連携協定を結ぶ福島大学をはじめ管内の大学生へ、コロナ禍で困窮した学生支援として、総量約1.8tのコシヒカリを贈呈しました。さらには学生に労働力を必要とする果樹農家へ農作業アルバイトを紹介し、援農支援を行いました。

災害とコロナ禍から食と農を基軸とした復興と「誰も取り残さない」地域社会づくりに貢献したことが評価されました。

SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

JAふくしま未来

ロゴマークは、管内で生産されている農畜産物をイメージ

果実：桃（赤）
穀物：米（黄金）
野菜：きゅうり（緑）
畜産：牛（ピンク）

管内の概要

JAふくしま未来は、福島県北東に位置し、中通り北部の県北地域の3JAと浜通り北部の相双地域の1JAが合併して誕生しました。管内面積は福島県全体の19%ほどで、県北地域には中心地域を南北に縦貫する形で阿武隈川が流れ、その流域に盆地が広がっています。地域内には温泉をはじめ、多くの観光資源を有するとともに、もも、りんご、なし等全国有数の果樹地帯を形成しています。海に面した相双地域のそうま地区は、太平洋と阿武隈高地に囲まれており気候は温暖で降雪も少なく、快適な居住環境で、平坦部では水稲、山間部では畜産が盛んです。
管内全域で果物・野菜・水稲・畜産がバランス良く生産されています。